

製品名: TGF β 1/3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21433**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:44kD;Observed MW:44kD,13kD

抗原情報

遺伝子名	TGFB1 TGFB3
別名	Transforming growth factor beta-1 proprotein;Latency-associated peptide;LAP;Transforming growth factor beta-1;TGF-beta-1;Transforming growth factor beta-3 proprotein;Transforming growth factor beta-3;TGF-beta-3;
遺伝子 ID	7040;7043
SwissProt ID	P01137;P10600
免疫原	-

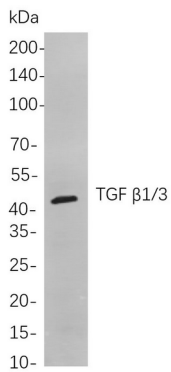
背景

細胞局在: 分泌型。この遺伝子は、TGF- β (形質転換成長因子 β) スーパーファミリータンパク質の分泌型リガンドをコードしています。このファミリーのリガンドは様々な TGF- β 受容体に結合し、遺伝子発現を制御する SMAD ファミリー転写因子のリクルートメントと活性化をもたらします。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって潜在性関連ペプチド (LAP) と成熟ペプチドを生成します。LAP は、成熟ペプチドホモダイマー、LAP ホモダイマー、および潜在性 TGF- β 結合タンパク質からなる潜在型、または成熟ペプチドホモダイマーのみからなる活性型のいずれかで存在します。成熟ペプチドは、他の TGF- β ファミリーメンバーとヘテロダイマーを形成することもあります。このタンパク質は胚発生と細胞分化に関与し、創傷治癒にも関与している可能性があります。この遺伝子の変異は、大動脈瘤および大動脈解離、ならびに家族性不整脈の原因となります。

研究分野

-

画像データ



A431 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。TGF β 1/3 ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。